

小学校社会科授業実践例

児童の具体的な姿を想定して評価を行う実践

単元名 消費者の願いに答える販売の工夫 (内容のまとめり 第3学年内容 (2)「地域に見られる生産や販売の工夫」)
題目 販売店の工夫 (10時間目/全12時間)

学習指導要領を確認し、単元の目標と評価規準を設定する

指導と評価の計画を作成する

児童の具体的な姿を想定し、評価規準を具体的に作る

授業と評価を行う

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>① 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。</p> <p>② 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。</p>	<p>① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。</p> <p>② 販売の仕方と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現している。</p>	<p>地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を主体的に追究し、解決しようとしている。</p>

【思-②】を具体的にした本時の評価規準

産直市場では、「生産者から野菜を直接仕入れ、形が整っていないものを安く売る」とこと「消費者の願い」を関連付けて、「生産者と販売店の利益をあげるとともに安く新鮮な野菜を販売する」という販売の仕事に見られる工夫を考え、表現している。



スーパーマーケットでは、形がほぼ同じでキズのない野菜が売られていたよ。

産直市場の野菜はスーパーマーケットと比べて値段が安かったよ。

児童のタブレットでの記述

産直市場でワケあり野菜を売るのは、スーパーマーケットでは売れない野菜を売ること農家の方がもうかるし、お客さんも野菜が安いとうれしいからだと思います。

上記の記述は、学習したことを基に、「スーパーマーケットでは売れない野菜を産直市場では販売していることで生産者の利益があがる」とこと、「消費者は値段の安い方がうれしい」ことを関連付けて販売店の工夫を記述しています。このことから、「おおむね満足できる」状況 (B) と判断しました。

